



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO  
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2017年6月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

# 札幌クラブ

The Service Club of YMCA  
The International Association of Y's Men's Clubs

Evaluation 評価

## — 主 題 —

国際会長	「Our future Begins Today」	Joan Wilson (カナダ)
アジア会長	「Respect Y's Movement」	Tung Ming Hsiao (台湾)
東日本区理事	「明日に向かって 今日働こう」	利根川 恵子 (川越)
北海道部部长	「視点をえて見てみよう」	山本 雅之 (十勝)
札幌クラブ会長	「親しくそして語り合う例会を」	宮崎 善昭 (札幌)

## 札幌クラブ役員

会 長	宮崎 善昭
副会長	伏木 康
書 記	中田 千鶴
会 計	秋葉 聡志
直前会長	宮崎 善昭

## 今月の聖句

めいめいが、自分の重荷を担うべきです。  
—ガラテヤの信徒への手紙6章5節—  
柴田 伸俊選

## 「待つ」ことと「ある」こと 会長 宮崎 善昭



2年間会員の皆さんに支えられてクラブ会長を豊かに経験することができました。YMCAを離れてYMCAを外の世界から見ると大変にユニークな団体であることを実感しました。それは基本的な人間関係が「持つ」という価値観でなく「ある」という価値観の運動であるということです。

「持つ」は所有格ですから主体が明確に何かを所有する、所有しないという自己中心的な発想をします。そして一旦所有すると次々と所有欲が沸いてきてもっと多く、もっと早く、もっと効率よく、もっと美しく等という循環が繰り返され膨大なエネルギーが費やされます。そしてこれは、老衰や病気になって動けなくなるまで続き、死によって完全に全てが消滅します。

では、もう一方の「ある」はどうでしょう。「ある」は存在ということですから、主体の思いや欲望と一切関係なく自立したものとして主体がある種の緊張感のうちに認識されているだけで、「ある」とされるものがこちらを認識、意識しているかどうかすら不明なのです。

YMCA運動の価値観は、このそこに「ある」全て

のもの（人間、自然、宇宙）、その中でも取り分け人間と関わろうとする営みなのではないかと思えます。

輪廻転生ではなく一回的・直線的)からするとわれわれが「持つ」ものは単に点であり、われわれの成すべき営みは「ある」ものと主体的に関わる点でなく一本の線とした時系列としてその経験を意味付け続け、自らを育むことではないかと思えます。

本来、人間の中で知識を得ることが生涯学習ではなく、自らを他者を通して育みつつ共に歩む運動を生涯継続するのがキリスト教風に言うならば、神が創造して「良し」とした全てのものの内の人間ということができると考えているものは、実は非常にせつな的で時間的に制限され、真にそのために生きることになるのかという再認識が必要になってくるのではないのでしょうか。

一人ひとりに与えられた永遠の時間軸（輪廻転生ではなく一回的・直線的)からするとわれわれが「持つ」ものは単に点であり、われわれの成すべき営みは「ある」ものと主体的に関わる点でなく一本の線とした時系列としてその経験を意味付け続け、自らを育むことではないかと思えます。本来、人間の中で知識を得ることが生涯学習ではなく、自らを他者を通して育みつつ共に歩む運動を生涯継続するのが生涯学習なのではないかと考えます。この意味においてワイズメンズクラブ運動は真にこのことへの気付きを与えてくれるものだと思います。

2年間ありがとうございました。

2017年5例会 在籍会員 11名 例会出席 8名 ネット 0名 メーキングアップ 0名  
出席報告 ゲスト 1名 ビジター 2名 計 11名 出席率 73%

## 札幌ワイズメンズクラブ

2017年6月例会

日時 2017年6月20日(火) 18:30~20:30

会場 北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

### プログラム

司会 秋葉 聡志

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 宮崎 善昭
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 宮崎 善昭
- ④ 開会挨拶 札幌クラブ会長 宮崎 善昭
- ⑤ 誕生日・結婚記念日 なし

⑥ 卓話

## YMCAチミケップキャンプの サステナビリティを考えるタベ

### 伏木康君・木田 貴浩君 他チミケップキャンプOB多数

- ⑦ 諸報告
- ⑧ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一
- ⑨ みんなで歌おう(チミケップを思い出しながら)



⑩ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 宮崎 善昭

### 何故 この聖句を？

#### 柴田 伸俊

「互いに」という言葉がとても大事だと思います。人はそれぞれが独立して、一匹狼のように生きることはできません。また、自分だけが安全で楽しければよいというのでもありません。孤立するのでもなく、ただもたれ合うのでもない、「互いに重荷を負いあう」関係が求められているのではないのでしょうか。

## 札幌ワイズメンズクラブ4月例会

日時: 2017年5月16日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖、伏木、安田、宮崎

ビジター: 山本雅之(十勝)、義村小夜子(北)

ゲスト: 佐藤志保(麻生整骨院副院長)

山本北海道部部長の公式訪問を迎えての5月例会は数年ぶりに会場を北海道YMCAに移して行われた。山本部長から1年間の思いと活動と成果の報告があった。卓話は鍼灸師の佐藤志保先生から正しい座り方、歩き方を学びました。以後、ソファで寝そべてテレビを見ることはなくなりました。

写真右:

前列左から、  
中田千、山本、宮崎、  
佐藤志保、義村

後列左から、  
佐藤雅、伏木、中田、  
安田、秋葉、柴田



写真左:

会場風景:

「手を挙げ  
誓い新たに」

## 札幌ワイズメンズクラブ5月事務会

日時: 2017年5月23日(水) 19:00~20:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、伏木、宮崎

① 6月例会: 6月20日(火) 18:30~20:30

会場: 北海道YMCA

② 6月事務会: 6月27日(火) 19:00~20:00

③ ブリテン: 聖句 柴田伸俊、  
巻頭言 宮崎善昭

④ 誕生日・結婚記念日: ともになし。

⑤ 6月の卓話:

### 「YMCAチミケップキャンプの サステナビリティを考える」

木田貴浩、伏木康両氏を中心に。前半木田氏によるプレゼンテーション。後半は数テーブルに分かれてディスカッション形式で行う。

⑥ 7月からは聖句は宮崎会員と中田会員が隔月で担当する。理由: 従来の「全員担当方式」はノンクリスチャン会員が聖書に触れる機会を与える意味では成功であった。次期は「会員のひとこと」「近況報告」「近頃思ったこと、したこと」のような欄を新設し、全員が投稿する。



身体の健康はよい姿勢から

麻生中央整骨院副院長 佐藤 志保



この度は貴重な時間の中で皆さんに私の話を聞いていただけましたこと、幸せに思います。今回のテーマは「身体の健康は良い姿勢から」という題で講演させて頂きました。

そもそも、私達整骨院・鍼灸院の役割は、手技の治療や、はり灸を通して患者様の健康をサポートすることです。姿勢とは、ご自身で気をつけている姿勢の良さはもちろん、他人から見ての姿勢の良し悪し、良い姿勢（若しくは不良姿勢）をすることで体にどんな影響を与えてしまうのか、ましてや内臓や自律神経の不調による代償的な動作をどうやって改善して行くのかなど…。1つの姿勢から沢山のテーマが考えられる、とても奥深い問題です。

その中でも私は、今回少し触れた内容になりますが、「座る・立つ・歩く」の3つにフォーカスを当てました。日常生活の中で、この3つをしない日はないかと思えます。この3つを押さえておけば、もしご自身や大切な方が不調を訴えている時にも、気づき易いのではないかと。思ったからです。（暫定的に）健康な方は特に、この「座る・立つ・歩く」を普段意識して生活していることはあまりないのかと思えます。

この3つの中で1つでも気になっている！という方は、過去に大きな病気や怪我などの身体の不調がある方に多いのです。ただ、先に記述しました「（暫定的に）」とは、この先誰にでも起こりうる可能性を秘めている…ということです。

実は、今はまだその痛みに達していないだけで、その前兆が姿勢に現れてきているのかもしれないのです。

何故この言葉を？

柴田 伸俊

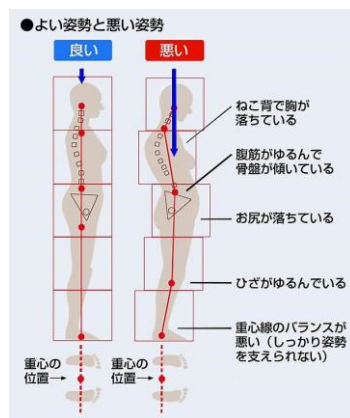
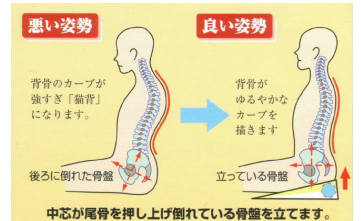
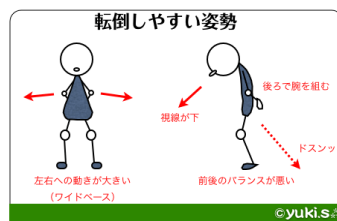
「互いに」という言葉がとても大事だと思います。人はそれぞれが独立して、一匹狼のように生きたりする存在ではありません。しかし、自分だけが安全で楽しければよいというのでもありません。孤立するのでもなく、依存するのでもない、「互いに重荷を負いあう」関係が求められているのではないでしょう

私達が感じることのできる痛みは沢山の性質を持ってます。針に誤って手を触れた時の痛みはとても速い線維の伝え方なので（反射）。ヒトの成長や発達についてもお話した通り、私達は産まれてから今まで、「誰かに教えてもらって発達していったものではありません。」この発達動作のほとんどが自分で見て、感じて、自ら獲得してきたものなんです。この動作の発達人はそれぞれで、歩くのが早い人もいれば、遅い人もいます。

そのため、姿勢も人によってそれぞれ違って、その人その人の良い姿勢は違います。強要された力んだ状態で良い姿勢をしていることで、折角の良い姿勢も意味がないどころか逆に筋肉が硬直してしまい、健康には程遠い体になってしまいます。

この難題を切り抜けるために！  
今回は少しストレッチをお教えしましたが、みなさん継続してますか？？

手っ取り早く良い姿勢を短時間することは簡単ですが、継続すること程、難しいことはありません。1日1回でも自分の姿勢を見つめ直してみてください。そこからご自身の健康な生活への1番のヒントになります。もし、今回のことで何かあればご相談ください。ありがとうございました。



写真：

ページ左上。  
講演前、宮崎会長と談笑する佐藤副院長。

ページ右中。  
会場風景。  
「いざ立て 誓いあらたに」



## 第20回東日本区大会

2017年6月3～4日 ウェスタ川越



第20回東日本区大会は6月3～4日江戸の面影を残す小江戸川越のウェスタ川越で行われました。札幌クラブからは伏木康会員（部選出代議員）と中田靖泰会員の2名が出席しました。

午前の**代議員会**には伏木会員が出席しました。十勝クラブの山田敏明君が次年度の次々期理事に選出されました。北海道部として全力を挙げて支援しましょう。

**オープニングセレモニー**は江戸の「天下祭」を今に伝えるユネスコ無形民俗文化財「川越まつり」。バナーセレモニーでは山本北海道部長の次に伏木直前部長が札幌クラブのバナーを掲げて登壇しました。

**記念講演**はいすみ鉄道社長の鳥塚亮氏の「ローカル線を救うおもてなし～危機を乗り越え、地域を元気にする方法～」と題するエネルギーと示唆に溢れる講演でした。鳥塚氏は「前と同じことをしては駄目」と車体にムーミンのイラストを張り付けたり、客車の中で地元の高校生の演奏会を開いたり、奇抜なアイデアで赤字列車を忽ちのうちに大臣や週刊誌が注目する人気鉄道に蘇らせます。房総の海の幸をふんだんに釣った「グルメ列車」は一人なんと16,000円で、9月までは予約でいっぱいだそうです。「今までと同じことをやっていると駄目」という鳥塚氏の言葉はワイズにとっても示唆に富む重い言葉でした。珍しく居眠りしている人のいない記念講演でした。

昨年、北海道日本ハムの日本シリーズ優勝を記念しての北海道部の**JEF 献金**はその後ネットでも大きな広がりを見せ、他球団のファンからも西日本区からも多くの献金が集まり、壇上で利根川理事に手渡されました。「何か違うこと」を始めるきっかけになれば幸いです。少人数で見事な大会を成功に導かれた川越クラブに敬意を表します。  
(中田靖泰記)



写真上： 前列右から、北海道部（山本雅之部長）、札幌クラブ（伏木直前部長）、北見クラブ（二本松能敬会長）、十勝クラブ（山田敏明会長）、札幌北クラブ（森熊治郎次期北海道部長）

写真左： 山本北海道部部長の活動報告では札幌クラブの時計台コンサートが紹介されました。

## YMCAニュース 担当主事 佐藤雅一

### ① 行啓通ふれあい広場

6月15日（木）行啓通商店街で行われる「ふれあい広場」にYMCAが今年も参加します。ベトナムハンディキャップセンターで作っているビーズキーホルダーやベトナムグッズの販売を行います。

### ② 水泳フェスティバル

6月18日（日）9:30～12:00、YMCAのプール全体を使ってのゲーム大会が行われます。普段とは違うプールでの楽しい遊びが体験できる他、着衣永体験などを通じた水の安全教室が行われます。

### ③ 水の安全キャンペーン

毎年全国のYMCAでは、夏を迎えるこの時期に水難事故を防ぐ目的で水辺での安全について理解を深める機会を設けています。子供達にはパンフレットを配布し、家庭でも水の安全について親子で学んでもらうと共に、各クラスで着衣永体験が行われます。又、近隣の小学校と協働で、着衣永体験・水の安全教室を行う準備を進めています。

### ④ フェアトレードフェスタ

7月1日（土）・2日（日）大通り公園西10丁目フェアトレードフェスタ in さっぽろが開催され、北海道YMCAも参加します。ベトナムYMCAハンディキャップセンターで作っているビーズキーホルダーとここなぎさんのコーヒーを販売します。YMCA以外にも30店舗ほど出店するほか、音楽・ダンス・講演などのイベントも行われます。

北海道YMCAはこのイベントに協力し、運営委員に加わり、宝くじ協会から寄贈を受けたテントを無償で貸し出しています。会場内にはYMCAのテントが目立っていますので、是非遊びに来てください。

このポスターは2011年のものです。



### ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、  
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、  
社会には奉仕第一を旨としよう。